

非核都市宣言20周年・三鷹市における
平和施策の推進に関する条例制定10周年記念

みたか平和のつどい

8月15日 世代をこえて平和を考える日

今から57年前の8月、人類史上初の原子爆弾が広島、長崎に投下されました。そして8月15日には、第二次世界大戦がようやく終わりを迎えました。8月は、平和への祈りを新たにするとともに、風化しつつある過去の戦争の悲惨さについて学び、次世代に伝え、今の平和を守る。これが私たちの役割ではないでしょうか。

市は、昭和57年に「三鷹市非核都市宣言」を制定し、平成4年に「三鷹市における平和施策の推進に関する条例」を制定しました。今年はいずれも20周年、10周年にあたります。市では、積極的な平和事業の推進を図り、さらに8月を平和強国月間として今年も平和展や8月15日の平和のつどいなどを開催します。

ぜひ、参加ください。

企画経営室 内線2115・地域福祉課 内線2615

平和のつどい 午前9時〜9時45分 仙川公園・平和の像前



三鷹市民の平和への思いが託され、多くの方々の浄財により仙川公園に建立された「平和の像」の前、平和への誓いを新たにします。

三鷹市民の平和への思いが託され、多くの方々の浄財により仙川公園に建立された「平和の像」の前、平和への誓いを新たにします。

▽献花・千羽鶴献呈「平和への手紙」(平成8〜13年度抜粋)朗読(うしろの会)、黙とう

※終了後、戦没者追悼式・平和祈念式典の会場(三鷹市公会堂)まで連絡バスを運行します。

第二次世界大戦で犠牲になられた

戦没者追悼式並びに 平和祈念式典 午前10時30分〜午後0時5分 三鷹市公会堂

「提供いただいた方には、8月9日(金)まで、企画経営室へご連絡ください。」

平和への誓いを込めて
千羽鶴を折ってください

平和のつどい開催時に、平和への誓いを込めて献呈する千羽鶴を募集します。

◇対象 個人でも団体でも結構です。
◇注意 折鶴はすべて、糸などを用いてつなげ、掛けることができる状態にしてください。

差し支えなければ、名札もお付けください。

「提供いただいた方には、8月9日(金)まで、企画経営室へご連絡ください。」

方々のご冥福を祈り、恒久平和を願う式典です。手話添付可。

内容は、献花、コーラス(女声合唱「ペンダー」)、追悼平和祈念のつどい、「平和への手紙」朗読(うしろの会)、黙とう。

ほかに、会場ロビーで平和カレンダーを展示。

中国帰国者の会・三鷹支部による展示
午前10時〜午後4時20分
三鷹市公会堂ロビー

三鷹市被爆者の会による被爆証言
午後0時20分〜50分
三鷹市公会堂ロビー

平和映画上映会
午後1時〜4時(開演午後0時50分)
三鷹市公会堂ホール

◆「山の郵便配達」(午後1時〜2時30分)
80年代の中国南方の山岳地帯で、郵便配

達を引返す父と息子の旅を通して、自然と家族の絆を描く。

◆アニメ「ぞう列車がやってきた」(午後2時45分〜4時)

戦争のなかでも、家の命を守った人々の心を伝える感動の実話。

▼いずれも、当日直接会場へ。

◇協賛団体 三鷹市連合会・憲法記念会
三鷹市民の会・各住民協議会・三鷹市被爆者の会・中国帰国者の会・三鷹市世界連邦運動協会・三鷹国際交流協会
三鷹市公会堂PTA連合会・三鷹市消費者団体連合会・東京三鷹ライオンズクラブ・東京三鷹ロータリークラブ・東京三鷹の頭口三鷹青年会議所・三鷹市赤十字奉仕団・三鷹市合唱連盟



「勇気の人」杉原千畝

杉原千畝(すきはらぢうね)は、ビザ約2千枚を発給しました。このホロコースト(ナチスによるユダヤ人虐殺)の中で、ナチスの迫害から逃げてリトアニア領事館に押し寄せたユダヤ人難民を見殺しにすることができず、自らの判断で集めた証言者の言葉によって解説した展示です。

「勇気の人」杉原千畝〜助けられた命のメッセージ展

8月9日(金)〜16日(金)
(10日(土)・11日(日)は休み)

午前9時〜午後4時30分
市役所1階市民ホール

「勇気の人」杉原千畝(展実行委員会企画、三鷹市主催、日本ユネスコ協会・日本ユネスコ協会連盟、リトアニア大使館、スラエル大使館後援)

◆同時展示 三鷹に咲くバラ



企画経営室 内線2115

2003年 平和カレンダー 平和の絵・メッセージを募集中

平和の絵募集

市では毎年、平和への願いを込めて、小学生のみなさんが描いた「平和の絵」と、市民のみなさんの「平和へのメッセージ」を載せて、「平和カレンダー」を作っています。たくさんのご応募をお待ちしています。

- ◆応募資格 市内在住の小学生(グループでの作成も可)
- ◆題材・大きさなど 題材・材料・色ども自由(文字は入れない)。B4判程度の横長。
- ◆応募方法 9月6日(金)まで、市立小学校の児童は学校へ、その他の学校に通う児童は「〒181-8555三鷹市役所企画経営室」へ郵送するか、直接持参してください。
- ※応募者全員にカレンダーを、入選者には記念品を差し上げます。11月には全応募作品の展示会を開催します。

平和へのメッセージ募集

平和のつどいや平和展などの会場で、備え付けのアンケート用紙にあなただけの平和への思いを自由にお書きください。入選者には記念品を差し上げます。

⇒企画経営室 内線2115

黙とうにご協力を

三鷹市防災無償により、恒久平和を祈る1分間の黙とうを行います。家庭や職場のみなさんの協力をお願いします。

◆終戦記念日 8月15日(日) 14時正

◆広島原爆の日 8月6日(火) 午前8時15分

◆長崎原爆の日 8月9日(金) 午前11時2分

図書館の本棚から

「平和をみつめる」

昭和20年、8月6日広島、9日長崎に原子爆弾が投下され、同日15日に終戦を迎えました。半世紀以上の年月が経った今、世界に目を向けると、テロ事件や地域紛争などにより、未だに多くの尊い命が失われています。

今後は、文学・歴史・教育の視点から、回想記・体験記・レポートの形式で綴った、戦争・平和について考える本をご紹介します。

◆「東京の戦争」吉村昭著 筑摩書房

「星への旅」「戦艦武蔵」「破天狗」など

の著書で知られる市内在住の作家、吉村昭の作品。2001年刊「地方に身を寄せる先もなかつた私は、戦時中のみならず終戦後も東京からはなれることはなかつた。(略)首都で日々を過ごした人間は限られていて、その庶民生活を書き残すのも、一つの意味があるのではないか。」

終戦時18歳だった著者が、東京で過ごした戦中・戦後を振り返る貴重な回想記。「すべてが奇妙であったが、それを奇妙とも感じぬ時代であった。不可思議な時代をくりぬけてきたものだ」と記している。何気ない言葉だが著者の心が感じられ胸を打つ。

◆「この国で戦争があった」P.H.研究所編 P.H.P研究所

池波正太郎、田辺聖子、永六輔ら著名人が語る

「戦争」体験記。戦争直前、戦中、戦争直後に生きた語り手たちの思いが伝わる選集。

◆「非戦」坂本龍一・Istusata inability for peace 監修 幻冬舎

今世界中で起きている戦争や紛争を取り上げ、さまざまな平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。世界の子どもたちの平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。世界の子どもたちの平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。

「戦争」体験記。戦争直前、戦中、戦争直後に生きた語り手たちの思いが伝わる選集。

◆「非戦」坂本龍一・Istusata inability for peace 監修 幻冬舎

今世界中で起きている戦争や紛争を取り上げ、さまざまな平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。世界の子どもたちの平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。

「戦争」体験記。戦争直前、戦中、戦争直後に生きた語り手たちの思いが伝わる選集。

◆「非戦」坂本龍一・Istusata inability for peace 監修 幻冬舎

「世界の子もたち」NGOの現場から フォスター・プラン・オーストラリア著 明石書店



世界57カ国で子どもに焦点を当てた開発援助を行っている団体「フォスター・プラン」が中心になってまとめた報告書。現在、世界の子どもたちが直面している貧困、飢餓、児童労働、環境汚染といった社会問題について実情をレポートしている。同団体は「人々の権利と尊厳が守られる社会において、すべての子どもたちが能力を發揮できるように世界を実現すること」を目的に活動を展開している。

同団体の事務局長は、「日本においても総合的な学習の時間などを通じてこの本が活用される機会を得たことを大変喜ばしく思っています。」と語っている。世界の子どもたちの平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。世界の子どもたちの平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。

「戦争」体験記。戦争直前、戦中、戦争直後に生きた語り手たちの思いが伝わる選集。

◆「非戦」坂本龍一・Istusata inability for peace 監修 幻冬舎

今世界中で起きている戦争や紛争を取り上げ、さまざまな平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。世界の子どもたちの平和を考える足がかりとなる1冊と語っている。

「戦争」体験記。戦争直前、戦中、戦争直後に生きた語り手たちの思いが伝わる選集。

◆「非戦」坂本龍一・Istusata inability for peace 監修 幻冬舎